

# 匠が巧みに未来を拓く ～住民主導のまちづくり～

梼原町町組再生委員会（愛称：たくみの会）

梼原町

梼原町は、町面積の91%を森林が占め、日本三大カルストのひとつ四国カルストに抱かれた自然豊かな山間の町です。一方で、地理的、気象的な条件から「四国のチベット」と呼ばれることもあり、交通の難所として知られていました。

愛媛県との県境を結ぶ「国道440号地芳道路」の改築事業に伴い、町の中心である『国道440号 まち中工区』では、単なる通過点となってしまう可能性を危惧されました。そこで、四万十川の源流域であるという自然的要件や、津野山郷としての歴史や、坂本龍馬ゆかりの地として知られる歴史的要件等を踏まえ、そのイメージを大切に、まちなか工区において、道路及び周辺施設等の整備に取り組み、自然と調和した有機的な魅力と機能性をあわせ持った街なみを住民とともに創造するために、地域住民による「たくみの会」が結成されました。

これまでは行政にすべて任せることが半ば当然

であったまちづくりについて、「たくみの会」が主体となって住民の声をまとめ、当事業の実現のために行政（町、国、県）に対する要望活動に積極的に取り組み、地元説明、意見の集約、路線決定、区画整理事業の地権者との合意形成等について、精力的な活動を続け、住民が描いた理想のまちづくりを自らの手で具体化させました。

現在は、沿道への四季折々の花植えや定期的な清掃活動と、さらに活動を充実させており、住民の交流の機会、梼原町について住民が直接考える機会を創出しています。また、梼原（津野山郷）を治めていた津野氏の霊を慰め、茶菓をもって輪番制で旅人をもてなす『茶堂』でのおもてなしや、街なみの一画に茶堂を設け、折々でお茶の接待等も実施しています。さらに、龍馬ゆかりの「脱藩の道ツアー」において、ボランティアガイドとして来訪者をもてなし、リピーターの獲得にも好影響を与えています。



「国道440号まち中工区」の全景



まちづくりのためのワークショップ



お散歩でも神楽のモニュメントが見守ります



茶堂をイメージした茅葺き屋根風「まちなか」



町産材の役場にてボランティアガイド



まち中工区にてボランティアガイド

- ◆所在地  
高知県高岡郡梼原町
- ◆活動内容  
清掃活動（毎月第2土曜日）、「茶堂」でのおもてなし（随時）  
ボランティアガイド（随時） など
- ◆活動主体及び連絡先  
梼原町町組再生委員会（愛称：たくみの会）  
梼原町環境整備課建設係（0889-65-1251）
- ◆対象となる社会資本  
国道440号 まち中工区

